



新年明けましておめでとうございます

支部社協通信



第12号
平成23年1月1日発行
西条市社会福祉協議会
地域福祉課

支部社協の皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別なるご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。支部社協の皆様方のご尽力によりまして、本会の地域福祉への取り組みは、「敬老の家」「ふれあい・いきいきサロン」「ふれあいシネマ」事業等、市民の皆様方に大きな評価を得るとともに、県内に誇れる事業に成長してきており、感謝申し上げるところであります。

さて、本年は卯年です。「卯」は本来の読みは「ぼう」であり、草木が地面を蔽うようになった状態を表しているとされる言葉です。本会におきましても卯年にふさわしい各種事業の拡充を図るべく、児童福祉や障害者福祉への取り組みを進めておりますが、支部の皆様方におかれましても地域福祉事業につきまして積極的なご提言をご期待申し上げます。

本年も倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年 元旦

西条市社会福祉協議会長 塩出皓治

支部社協紹介

今号では、道前平野西部に位置する中山間地域で、平成18年に桜樹支部と合併した「中川支部」を紹介します。

関屋の山から流れるウルメ川・南谷川が合流した関屋川は、関屋、石経(いしきょう)地区を経て、国道11号線沿いの中山川と合流します。小・中学校のある来見(くるみ)地区、中山川沿いの国道付近には赤穂、湯谷口、志川等の地区、そして、桜三里へ続く国道の山手には、鞍瀬川と志河川に囲まれた山間部の桜樹地区(鞍瀬、明河(みよが)、楠窪地区等)があり、当支部は山間部も含め広範囲となりました。

国道11号線と産業道路を主としたアクセスに恵まれた地域ですが、関屋川流域に広がる果樹園地帯は後継者不足等で耕作放棄地が年々増加し、また、水田が少ない桜樹地区では林業も衰退し、棚田を利用した小規模農業(柚子栽培等)をしていますが、地場産業も少なく、若者の地元離れも進んでいる残念な現状となっております。

中川支部

支部長 越智 實一



12地区を有する当支部は児童数の激減、少子高齢社会を背景に高齢化率は約36%に達し、地域の行事開催も高齢者が中心とならざるを得ない現状となりました。

当支部の活動は、社協メニュー事業(敬老の家事業等)を主活動としていますが、地域福祉活動として、①ふれあい活動(老人と子どものふれあい事業、しめ縄づくり等)、②友愛訪問(小・中学生の老人慰問、婦人会の独居老人慰問等)を軸に、福祉活動推進委員等(各関係団体・組織等)の支援をいただきながら、地区単位でも多種多様な活動をしています。

特に「ふれあい・いきいきサロン」は、これからの地域福祉活動の原動力にするべく、①サロンの育成、②住民の社会参加への推進、③地域福祉活動の格差是正等を目的に、今後も積極的に取り組んでいくつもりです。

地域を守り・育てるのは地域住民自身であるため、交流を大切にしながら地域の輪を広げ、安心して暮らせるまちづくりに寄与できればと思います。

27支部位置図



- | | | | |
|------|--------|--------|-------|
| 1 玉津 | 8 橋 | 15 多賀 | 22 丹原 |
| 2 飯岡 | 9 氷見 | 16 壬生川 | 23 徳田 |
| 3 西条 | 10 加茂 | 17 国安 | 24 田野 |
| 4 神拝 | 11 大保木 | 18 吉岡 | 25 中川 |
| 5 大町 | 12 市之川 | 19 三芳 | 26 小松 |
| 6 神戸 | 13 周布 | 20 楠河 | 27 石根 |
| 7 禎瑞 | 14 吉井 | 21 庄内 | |

中川地区はこんなところ



■基本情報（平成22年9月現在）

人口 : 3,121 人
 世帯数 : 1,316 世帯
 自治会数 : 12
 施設等 :



中川さくら保育園、中川小学校、丹原西中学校、道前溪温泉、丹原B & G海洋センター、中川診療所、丹原高齢者生活福祉センター、デイサービスセンターさくら、グループホームこういう庵 等

■地場産業

農業（水稻、柿、キウイフルーツ、イチゴ、花等）
 林業 等

■名所等

桜「陽春」、磐根（いわね）神社「イチョウ」、夫婦滝、中山川溪谷、赤城跡地、桜三里、衝上（しょうじょう）断層、常夜燈劈巖（へきがん）透水路、志河川ダム 等

■伝統・行事等

磐根神社毛槍投げ奴、安楽寺、中川ふるさとまつり、地区秋祭り（おみこし、獅子舞、子ども相撲、地区文化祭）小学生と高齢者とのしめ縄づくり 等



自慢の支部事業

中川支部で積極的に取り組んでいる「ふれあい・いきいきサロン」事業は、支部内で現在17サロンが活動しています。各サロンは自主運営のため、他のサロン活動状況を知りたいという意見がありました。そこで、来見地区内の5サロンを中心にメンバーが集い、他のサロンメンバーや住民との情報交換・サロンの交流を目的とした「ふれあい・いきいきサロン支援講演会」を開催しました。

サロン活動を支部社協がバックアップし、さらに内容の充実したサロンが地域に増えれば、地域活性化につながるはずです。

1 事業名	ふれあい・いきいきサロン支援講演会 「いきいき人生：支援のレクリエーション」
2 内容	レクリエーションの指導とサロン間の情報交換・交流
3 日時	平成22年2月18日（木） 10:00～12:00
4 場所	丹原町来見集会所
5 参加	サロンメンバーと老人クラブ（約80名）
6 講師	黒田 美勢子 氏（愛媛県生涯学習推進講師）

～ 黒田講師のお話し ～



～ じゃんけんゲーム ～



～ 筋力体操等 ～



～ あんたが好きよ ～



現在活動中の17サロンのメンバーは、20～90歳代と幅広い年齢層で構成され、サロンメニューにレクリエーションを取り入れているグループがほとんどです。本事業はサロン支援事業の一環として、レクリエーションについての①基礎理論、②効能、③レクリエーション援助のポイント等を、黒田講師の指導で体験学習しました。

サロン活動は小地区単位を基本としているため、複数のサロンが一堂に会する機会は今までありませんでした。この機会に「ふれあい・いきいきサロンの周知」も兼ね、地区老人クラブの方々等にも参加を呼びかけ、サロンメンバーが世話人となりレクリエーションを中心に、地域交流、サロン間の交流を深めました。

講演内容は、①笑顔作りの練習、②認知症予防ゲーム（脳幹を刺激する指先を使ったじゃんけんゲーム等）、③リラックスしての合唱、④歌にあわせた脚の筋力体操、最後に参加者が二重の輪になり、フォークダンスのように移動しながら⑤あんたが好きダンス（参加者同士で握手、愛情表現のハグ（抱擁）をしながら「あんたが好きよ」と声に出す）等のレクリエーションでした。

会場は大盛り上がりで、「普段は笑顔が少ないが、レクリエーションを通して心と身体がほぐれ、自然に笑顔になっていた」「レクリエーションの基礎も分かり、楽しかった」等の意見もいただき、レクリエーションの効果的な提供は、良好なコミュニケーションが不可欠ということも体験し、心の通った楽しい研修会でした。

「レクリエーションは一方的に施すのではなく、共に楽しみ、共に同じ時間を共有する」というところは、サロン活動にも共通します。

サロンメンバーの楽しみや健やかさを皆で共有できるよう、また、地域コミュニティづくりのため、支部社協としても人的・経済的支援を続け、地域活性化へとつながるように「ふれあい・いきいきサロン」の育成にも積極的に取り組んでいこうと思います。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

社協事務局職員一同